

一般社団法人日本家政学会 家族関係学部会 ニュースレター

Council on Family Relations, Japan Society of Home Economics



2024 年度 第 2 号 2025. 2. 21 発行

編集 中川 まり (広報担当)

発行 家族関係学部会事務局

INDEX * * * * *

- 部会長より
- 第 44 回家族関係学セミナー報告
- 『家族関係学』編集委員会より
- 第 45 回家族関係学セミナーのご案内
- 庶務 (会員管理担当) より
- 会計より
- 会員のメルマガを利用した情報発信について

* * * * *

☆☆☆ 部会長より ☆☆☆

奥田 都子 (静岡県立大学短期大学部)

三寒四温の季節となり、冷たい風のなかにも春めいた陽光が感じられます。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。新役員体制発足から間もなく 4 か月が経過しますが、滞りなく引継ぎが行われ、2024 年度の事業を順調に進めております。

2024 年 10 月 26 日～27 日に東京家政学院大学三番町キャンパスにて開催されました第 44 回家族関係学セミナーには、多くの会員の皆様にご参加いただきました。大会実行委員長の井上清美先生をはじめ、実行委員会の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

2025 年度の第 45 回セミナーは、10 月 11 日～12 日に、冬木春子先生を実行委員長として、静岡県立大学小鹿キャンパスにて対面形式で開催予定です。現在、研究活動企画チームが中心となってシンポジウム企画を進めており、詳細は改めてお知らせします。開催地の静岡は、東京、名古屋から新幹線で 1 時間の出かけやすい場所ですが、家族関係学セミナーは初めての開催となります。議論や交流を深められますよう、「情報交換会」も設けますので、ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

また、『家族関係学』第 43 号を 12 月にお届けし、現在は第 44 号の編集に向けて着々と進めております。投稿締切りは 3 月末になりますので、会員の皆様からのご投稿を期待しています。

その他にも、ニュースレターやメールマガジンの発行、ホームページの更新、『家族関係学』誌の J-STAGE 登載など、部会では様々な事業や活動が同時に進行しております。引き続き、本部会の活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

★ ★ ★ 第44回家族関係学セミナー報告 ★ ★ ★

井上 清美 (第44回セミナー実行委員長/東京家政学院大学)

第44回家族関係学セミナーは、2024年10月26日・27日に東京家政学院大学千代田三番町キャンパスを会場として、対面およびオンライン（Zoom）のハイブリッド形式で開催しました。

第1日目は公開シンポジウム（共催：東京家政学院大学）と総会、第2日目に自由報告を行いました。プログラム別の参加人数は、公開シンポジウム60名（対面参加46名、オンライン参加14名）、自由報告43名（対面参加34名、オンライン参加9名）でした。

第1日目の公開シンポジウムは、「人生をどう締めくくるのか-終活ブームの背景にある家族と社会の変化-」というテーマで、日本家政学会の活動助成を得て開催されました。司会の藤崎宏子氏（元お茶の水女子大学）・安藤究氏（名古屋市立大学）のもと、報告1では井上治代氏（東洋大学現代社会総合研究所客員研究員）が“「死後福祉」をつくる-無縁社会における支援システム-”と題し、エンディングセンターの実践や調査をもとに家族に代わるサポートシステムの実態について報告されました。次に報告2として、渡邊千恵子氏（尚絅学院大学教授）が“変容する家族と葬儀-私たちは葬儀に何を求めるのか-”と題し、家族の私事化や個人化が進行する中で、必要とされる新しい社会秩序のあり方について報告されました。報告3では、星野哲氏（立教大学社会デザイン研究所研究員）が“財産の家族的継承と社会的継承-自己決定としての遺贈寄付-”と題し、現在注目が集まる遺贈寄付の動向や社会的意義について報告されました。それぞれの報告内容を受けて、安藤究氏から“就活ブームの社会的背景”と題し、「死へのプロセス」を支える新たな社会的装置や制度についての論点が示されました。参加者からの質問と合わせて、終始活発な議論が交わされました。

第2日目の自由報告は、A会場が4報告、B会場が5報告、いずれも対面参加で計9報告がありました。座長は、青木加奈子氏（京都ノートルダム女子大学）と花形美緒氏（明星大学）が務めてくださいました。A会場では、中国や韓国、日本を対象とした多角的な研究成果が報告されました。B会場では、家庭科教育における指導や実践に関する研究が報告され、家族の多様性や地域のあり方について議論が深まりました。いずれの会場も活発な質疑があり、有意義な時間となりました。

第44回家族関係学セミナーは、皆さまのご協力を賜り、大きなトラブルも無く無事終了することができました。実行委員の皆様も、海外から対応して下さったり、様々な業務と重なる中にも会場に駆けつけて下さったりと、多忙な中、それぞれのお立場で多大なご尽力をいただきました。この場を借りて心よりお礼を申し上げます。

第44回家族関係学セミナー実行委員会：赤松瑞枝・安藤究・大森美佐・佐野潤子・
中川まり・永田晴子・平野順子・藤崎宏子・八巻睦子・井上清美

★ ★ ★ 『家族関係学』編集委員会より ★ ★ ★

中谷 奈津子 (編集委員長/神戸大学)

○ 『家族関係学』44号への投稿論文の募集

『家族関係学』No.44 への投稿原稿を募集いたします。多くの会員のみなさまから力作が寄せられますことを期待しています。

投稿はメールのみの受付となります。投稿規程、執筆要項は、本部会ホームページをご確認ください。原稿には、本部会ホームページからダウンロードした「投稿申込用紙」を添えて、MSWord 形式および PDF 形式 のファイル両方を、編集委員会 (下記アドレス) 宛にメール添付で送付してください。ご投稿をお待ちしています。 メール投稿締切期日：2025年3月31日(月) 23:59

編集委員会 E-mail edit★kazokukankeigaku.jp (★を@に置き換えてください)

○ 書評・文献紹介の対象となる図書情報の募集

書評・文献紹介の対象となるご著書等の情報を、ぜひお知らせください。2024年5月1日から2025年4月30日までの間に刊行され、部会員が執筆に関わったすべての文献を対象とします。自薦、他薦いづれも歓迎します。

編集委員会書評・文献紹介担当まで、1冊、献本をお願いします。もしくは、書誌情報【著者名・編者名、書名、発行年月日、発行所、税込価格、ISBN、執筆部会員名】を E-mail でご連絡いただければ幸いです。なお、ページ数に限りがあるために、すべての著作を取り上げることはできませんのでご了承ください。締め切りは、2025年5月1日(水)とします。

〈書評・文献紹介担当〉

〒 102 - 8341 東京都千代田区三番町 22 東京家政学院大学現代生活学部 井上清美 宛

Tel: 03-3262-2251 (代表)

編集委員会 E-mail: edit★kazokukankeigaku.jp ★を@に置き換えてください

★ ★ ★ 第45回家族関係学セミナーのご案内 ★ ★ ★

冬木 春子 (第45回セミナー実行委員長/静岡大学)

第45回家族関係学セミナーは、静岡県立大学小鹿キャンパスにて開催します。

参加及び自由報告申し込み方法、セミナー詳細についてのご案内は5月を予定しております。現時点では、対面での開催を目指して準備を進めております。

多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

日 程：2025年10月11日(土)～12日(日)

会 場：静岡県立大学 小鹿キャンパス

〒422-8021 静岡市駿河区小鹿2丁目2番1号

アクセス：

JR「静岡駅」下車、バス15分。JR「東静岡駅」下車、徒歩20分。

静岡鉄道「柚木駅」下車、徒歩20分。

★ ★ ★ 庶務(会員管理担当)より ★ ★ ★

永田 晴子 (庶務/大妻女子大学)

- ご住所・ご所属の変更、入退会のご希望については、下記までご連絡ください。
- 2017年度から学生会員の年会費が減額されております。会員区分に変動があった場合（たとえば学生会員から正会員へ）は、お手数ですが、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- 情報提供のお願い
 - メールアドレス不明：川村 千恵子・田中 弓子・松尾 敏之（敬称略）
 - 住所不明：駒井彩・山田桃子（敬称略）
 - ※連絡先の情報をお持ちの方はご連絡ください。

○バックナンバーの購入について

『家族関係学』の在庫は、30号（9冊）、31号（8冊）、32号（9冊）、33号（6冊）、34号（10冊）、35号（10冊）、36号（5冊）、37号（31冊）、38号（21冊）、39号（53冊）、40号（43冊）、41号（50冊）、42号（17冊）です。1冊2,000円で購入できます。購入希望の方は、下記の連絡先までお知らせください。ご所属の図書館等の蔵書としてもお買い求めいただきますようお願いいたします。

なお、『家族関係学』の在庫の保管・販売は2017年7月から、よしみ工産株式会社東京事務所に業務委託しています。購入希望者の方には、よしみ工産株式会社より郵送されます。

連絡先：大妻女子大学 永田晴子

〒102-8357 東京都千代田区三番町12 Tel：03-5275-6298 Fax：03-5275-6298

E-mail：inquiry★kazokukankeigaku.jp（家族関係学部会事務局） ★を@に置き換えてください

★ ★ ★ 会計より ★ ★ ★

森田 美佐 (会計/高知大学)

2024年度および過年度の年会費未納の方は、**2月28日(金)までに**年会費を振り込んでください。会計の都合上、期日厳守をお願いいたします。また、学生会員の年会費が2017年度より減額となっております（正会員5,000円、学生会員2,000円）。学生会員として年会費を振り込む場合は、必ず学生証の写しを下記までお送りください。郵送でもPDFや画像で送っていただいても構いません。

2025年度に学生会員として入金を希望される方については、提出期限や提出方法など、今後のニューズレターでご案内いたしますので、そちらをご確認ください。なお、学生会員の場合は2年分の年会費を前納することはできません。

ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

年会費振り込み先：（郵便振替）00310-6-30229 家族関係学部会

連絡先：高知大学 森田 美佐 〒780-8520 高知市曙町2-5-1

Tel：088-844-8421 E-mail：inquiry★kazokukankeigaku.jp（家族関係学部会事務局）

★を@に置き換えてください

★ ☆ ★ 会員のメルマガを利用した情報発信について ★ ☆ ★

中川 まり (広報/大妻女子大学)

家族関係学部にしかかわる活動で、会員間の相互交流や研究活動の発展に資する情報の配信を希望する方は、下記の要領で、事務局メールアドレスまで情報をお寄せ下さい。なお、発信内容が不適切であると役員会が判断した場合、情報が掲載されないこともあります。

<メルマガ配信依頼について>

【依頼先】 inquiry★kazokukankeigaku.jp (★を@に置き換えてください)

【メールの件名】 メルマガ配信依頼

【配信内容】 メール本文に①～④の内容を記載してください。

①情報のタイトル (「〇〇のご案内」など)

②配信内容 (概ね 600 文字以内)

③主催者

④問合せ先

*配信できるのはテキストデータのみです。ファイルを添付することはできませんので、ウェブサイトへのリンク等でご対応ください。

【メルマガ配信予定】 年4回 (5月・7月・9月・10～12月)

✽++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++✽

<家族関係学協会事務局>

〒102-8357 東京都千代田区三番町12

大妻女子大学 永田晴子

Tel : 03-5275-6298 Fax : 03—5275-6932

E-mail : inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学協会事務局)

メルマガ配信アドレス : info★kazokukankeigaku.jp ★を@に置き換えてください

家族関係学協会ホームページのURL : <http://kazokukankeigaku.jp>

✽++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++✽